

「2012年度 事業報告」

1. 2012年度事業報告について

早稲田大学男女共同参画推進委員会は、2008年12月に発表した2017年度までの中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現に向けて、次のとおり2012年度の事業を実施した。

2012年度の事業の中で特筆すべき点としては、人事部、研究推進部、教務部、キャンパス企画部と懇談を実施し、必要な情報収集と意見交換を行ったこと、2013年度実施教職員全数調査の実施方法について検討を行い、調査票の改訂作業を始めたこと、そして大学が2012年10月に発表した「Waseda Vision150」の核心戦略の中で、「男女共同参画・ダイバーシティの推進プロジェクト」を設置し、20年後の数値目標を設定したことなどが挙げられる。

2. 2012年度の具体的事業報告

1) 女性専任教員比率の向上

- ① 女性専任教員比率の向上に向けて2009年度（第1回）と2011年度（第2回）に実施した学院との懇談の内容について、2012年度も引き続きWaseda-net portalサイトにおいて学内教職員に公表し、次回第3回の懇談について検討を進めた。
- ② 女性専任教職員比率の向上に向けて、人事部、研究推進部、教務部、キャンパス企画部との懇談（ヒアリング）を実施した。

○各部との懇談

懇談実施日	箇所名(実施順)	箇所側出席者	委員会側出席者
2012/04/26	人事部	本田常任理事ほか4名	川田委員長ほか3名
2012/12/05	研究推進部	深澤研究推進総括理事ほか3名	川田委員長ほか4名
2013/01/16	教務部	田中教務総括理事ほか3名	川田委員長ほか4名
2013/02/25	人事部	迫田理事ほか4名	川田委員長ほか3名
2013/02/27	キャンパス企画部	佐藤キャンパス企画部長ほか2名	村田制度環境部会長ほか4名

- ③ 当初目標とした一般教員を対象としたポジティブアクションの勉強会や講演会の開催には至らなかった。

2) 女性専任職員および女性管理職比率の向上

- ① 2012年6月、専任教職員を対象とする大学経営セミナー「大学経営に不可欠なダイバーシティの推進」（人事課主催）の実施に協力した。
- ② 女性管理職比率が低迷する理由について、本人の能力以外に阻害する因子（辞退、家事・

育児・看護等)は何なのかを探るため、2008年度、2010年度に引き続き、2012年4月(第3回)と2013年2月(第4回)に、それぞれ人事部との懇談(ヒアリング)を実施した(前表参照)。

- ③ 女性管理職比率が低迷する原因を明らかにし、比率を改善することを目的に、40歳前後の女性専任職員を対象とした懇談会(ヒアリング)を実施した。その中で、女性が管理職になることを躊躇する理由の一つとして、「管理職とは全てを熟知し、働き続けなければいけない」というイメージを持っていることがわかった。また、職場の問題としては、任期や資格の違う女性の採用が増え、職場内で専任女性職員が孤立するような職場があることが明らかになり、懇談会を女性専任職員同士の交流の場として歓迎する声があがった。

○女性専任職員懇談会

懇談実施日	場所	参加者数	委員会側参加者
2012/07/25	早稲田キャンパス大隈会館 N305 会議室	3名	桜井副委員長ほか4名
2013/01/30	早稲田キャンパス大隈会館 N203 会議室	5名	桜井副委員長ほか3名

3) 男女共同参画推進に対する教職員の意識向上

- ① 新規採用の教職員を対象とした以下の研修に、男女共同参画の講義を盛り込み、本学の「男女共同参画基本計画」を周知するとともに、男女共同参画推進への理解を深め、意識の共有化を図った。

○新入教職員への研修

研修実施日	研修名	場所	対象者	講師
2012/04/02	新任教員セミナー	早稲田キャンパス8号館 B101 教室	114名	橋本学事総括 常任理事
2012/05/11	新入職員研修 (新卒・既卒)	早稲田キャンパス大隈会館 N301 会議室	24名	桜井副委員長
2012/10/18	新入職員研修 (既卒)	早稲田キャンパス大隈会館 N203 会議室	5名	桜井副委員長

○専任教職員への研修

研修実施日	研修名	場所	参加者数	開催形態
2012/06/27	大学経営セミナー「大学経営に不可欠なダイバーシティの推進」	早稲田キャンパス大隈会館 N301 会議室	41名	協力

- ② 教職員・学生・一般向けのシンポジウム、啓発セミナー、講演会等を以下のとおり開催し、本学の「男女共同参画基本計画」を周知、理解を求める機会を提供した。また、開催報告を Web サイトに掲出したほか、推進室が主催したセミナーや講演会等については DVD に収録し、希望者が視聴できる機会を設けた。また、授業支援システム Course N@vi にてオンデマンド配信するなど、当日参加できなかった者への配慮も図った(p.6 参照)。

○シンポジウム・講演会等の開催

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2012/06/01	公開講座	[科学史とジェンダー] ① 「科学はジェンダー中立か」 ② 「ジェンダー化された自然」	教職員・ 学生・一般	30名 31名	主催
2012/07/14	講演会	ポピュラーナースクール早稲田第6回 育児講演会 「輝く子供の未来づくり～生活リズム向上大作戦～」	教職員・ 学生・一般	40名	共催
2012/10/13	講演会	稲門女性ネットワークによる現役女子学生のためのキャリア支援「第8回未来の自分を発見しよう」	学生	50名	協賛
2012/10/19	講演会	早稲田文化芸術週間 2012 「イクメンによるワークライフバランス講座第2弾～これからの日本企業での働き方～」	学生・教職員・一般	217名	主催
2012/11/01	講演会	「3.11とジェンダー」 おだがいさまが支えた169日間 -女性専用のスペースが生まれた理由(わけ)-	学生	80名	共催
主催 2回・共催 2回・協賛 1回 計 5回			計(前年比)	448名	(△402名)

4) ライフイベントサポートシステムの改善と拡充

① ワークライフバランス・サポートセンター(以下、サポートセンターと略)では、教職員・学生を対象とした相談事業・交流事業を実施した。

相談事業では、特にキャリア初期研究者が、研究者として自立するためのキャリア支援および出産、看(介)護等のライフイベントの両立支援、大学院学生の就職活動についての支援が中心となった。なお、相談件数は前年度に比べて減少がみられた。

交流事業では、ランチョントーク&ミーティング等により、キャリア初期研究者の交流の場を充実させるとともに、教職員・学生を問わず、ライフイベントに役立つ講座やセミナーを各種開催した。なお、参加人数については前年度に比べて増加した。

○相談事業

相談件数	(1)性別		(2)属性				(3)相談内容 (重複あり)					
	男性	女性	教員	職員	学生	その他	進路	ライフスタイル	心理	ハラスメント	就活	その他
54	11	43	7	10	36	1	21	19	5	1	18	6
前年比 △48	△11	△37	△11	+1	△37	△1	△2	△6	△1	±0	△18	△5

○交流事業

開催日	内容	演題等	主な対象	参加人数	開催形態
2012/05/24	ランチン・ミーティング	文系研究者のキャリア形成「ランチントーク&ミーティング in早稲田キャンパス」	非常勤講師・助教・助手・学生・ポストドク	13名	主催
2012/07/19	セミナー	「プレゼン力UP講座」	学生・教職員	30名	主催
2012/09/28	セミナー	「メール力UP講座」	学生・教職員	51名	主催
2012/10/16	ランチン・ミーティング	文系研究者のキャリア形成「研究者なう」 in戸山キャンパス	非常勤講師・助教・助手・学生・ポストドク	8名	主催
2012/11/21	セミナー	パートナーと考える「女性のからだのライフサイクルを識る講座」	学生・教職員	8名	主催
2012/12/18	ランチン・ミーティング	「強みを知ってステップアップ」	任期付教職員・学生・非常勤講師	2名	主催
2013/01/23	セミナー	ワークライフバランス講座「定時に仕事を終わらせる仕事術！」	学生・教職員	37名	主催
2013/02/07	セミナー	ダイバーシティ社会を拓く自己プロデュース思考	学生・教職員	13名	主催
2013/03/06	ランチン・ミーティング	「強みを知ってステップアップ」	任期付教職員・学生・非常勤講師	5名	主催
主催9回	計9回		計(前年比)	167名	(+44名)

- ② 10号館2階（男女共同参画推進室と同じ階）の女子トイレ内にベビーチェア、折りたたみ式のおむつ交換台が設置された。
- ③ 男女共同参画推進室のサポート施設利用者については、早稲田キャンパス・西早稲田キャンパスともに増加傾向にあり、特に搾乳による女性利用者、子ども連れの女性利用者が増えつつある。

○施設利用者

施設名	a. 開室日数	b. 利用者数	b./a. 日平均	b.内訳 男性	女性	子供
早稲田キャンパス10-213 事務所・相談室 (前年比)	230日	777名 (+462名)	3.3名 (+1.8名)	347名 (+273名)	417名 (+186名)	13名 (+3名)
西早稲田キャンパス60-214 ワークライフバランス・サポートセンター (前年比)	214.5日	579名 (△6名)	2.6名 (±0名)	267名 (△71名)	303名 (+77名)	9名 (△12名)
	計 (前年比)	1356名 (+456名)	—	614名 (+202名)	720名 (+263名)	22名 (△9名)

- ③ サポートセンター相談員の研修を目的として、学内外の以下のシンポジウム・講演会・

セミナー等に相談員を派遣した。

○研修

開催日	内容
2012/06/06	オランダと日本における女性就労の潜在的可能性
2012/06/22	内閣府「男女共同参画社会作りに向けての全国会議 ～男女共同参画による日本再生～」
2012/07/02	第1回男女共同参画セミナー「男女共同参画は日本の希望」
2012/07/02	日米のワークライフバランス ―ジェンダー格差センシティブな視点から―
2012/07/04	発達障がいをもつ学生への理解と支援 1回目
2012/07/14	輝く子供の未来づくり ―生活リズム向上大作戦―
2012/07/18	女性のキャリア形成 第一回女子学生のキャリア支援
2012/09/12	女性のキャリア形成 第二回女子学生のキャリア支援
2012/10/13	TWN 第8回未来の自分を発見しよう
2012/10/17	発達障がいをもつ学生への理解と支援 2回目
2012/11/09	ウィメンズプラザフォーラム
2012/11/13	ベンチャーやろうぜ
2012/12/07	ビジネスプランコンテスト最終発表会
2012/12/08	関西学院大学（私大連協力シンポジウム）「関西圏の私立大学における男女共同参画の推進を目指して」
2013/03/15	実践的博士人材養成プログラム成果報告会

④ 『2008～2011 年度ワークライフバランス・サポートセンター活動報告書』を作成し Waseda-net portal および推進室 Web サイト上で公表した。

⑤ 出産・育児・看（介）護等（ライフイベント）を支援するシステムを充実させるために、すでに学内にあるライフイベントサポート諸制度（大学の福利厚生事業、健康保険組合の保健事業「Benefit Station」による業務委託分）の確認を行い、リーフレットやニュースレター、Web サイトにおいて適宜周知した。

5) キャリア初期研究者への支援

① キャリア初期研究者からサポートセンターに寄せられた相談のうち、大学への要望等があるものについては、学内関係箇所にもどのように働きかけていくかについて検討した。

6) 女子学生の就職・進学支援

① 2012 年度も、オープン教育センター設置の男女共同参画への導入講座、「女性・しごと・ライフデザイン」、「ウーマン・キャリアクリエイト講座」、および「科学とジェンダー」を継続して開講した。また、6月開催の「科学とジェンダー」の2コマ分については、履修者以外も聴講可能な公開授業として実施した(P.2 参照)。なお、登録者数については、前年度と比べていずれの科目も減少したが、「女性・しごと・ライフデザイン」の登録者

減については定員減に伴う減少である。

○関連科目の開講・登録者数

科目名／担当教員	学期	2012年度（前年比）
女性・しごと・ライフデザイン／矢口徹也ほか	春学期	40名（△68名）
ウーマン・キャリアクリエイイト講座／並木秀男ほか	秋学期	200名（△9名）
科学とジェンダー／中村采女ほか	春学期集中	20名（△16名）

- ② 2012年10月に、女子学生の進学・就職支援のため、稲門女性ネットワーク（TWN）・キャリアセンターと連携して、女子学生を対象としたセミナー「第8回自分の未来を発見しよう～OGのパネルディスカッション～」を開催した（p.3参照）。

7) 人権・ジェンダー・労働に関わる教育・研究の推進

- ① 関連科目のデータベース化、補完・強化すべき分野の検討を検討し、2012年度開講科目について、男女共同参画に関連するキーワードによる抽出作業を実施し、Webサイトで138科目（前年比18科目増）を紹介した。
- ② オープン教育センターが設置する、全学生、主に学部新生を対象としたオンデマンド授業「わせだライフABC」に盛り込む男女共同参画部分のコンテンツを引き続き提供した。
- ③ 講演会の動画を男女共同参画推進室提供講座として、授業支援システム Course N@viにて、オンデマンド配信した。

○オンデマンド授業

科目名／テーマ名／講師	2012年度 受講者数
わせだライフABC／男女共同参画とは何かを考えてみよう／川田委員長	846名
〔男女共同参画推進室提供講座〕 女性への大学教育の開放：早稲田大学の場合－ワセ女は彼女たちから始まった－ (2009年10月19日収録)	166名
〔男女共同参画推進室提供講座〕 イクメンによるワークライフバランス講座～ファザーリングが社会を変える！～ (2011年10月21日収録)	170名
〔男女共同参画推進室提供講座〕 イクメンによるワークライフバランス講座第2弾 これからの日本企業での働き方～ダイバーシティ・マネジメント実践術～ (2012年10月19日収録)	110名

8) 国内外の大学および研究機関との交流

- ① 2012年6月に、オープン教育センター設置科目「科学とジェンダー」の中から「科学史とジェンダー」を公開講座として開催した。また、同年10月には、「早稲田文化芸術週間

2012の企画」として、講演会「イクメンによるワークライフバランス講座第2弾～これからの日本企業での働き方～ダイバーシティ・マネジメント実践術～」を開催するなど、本学の学生・教職員の男女共同参画についての理解を深めるとともに、外部にも公開して本学の取り組みを紹介した。

そのほか、学内他箇所が主催する男女共同参画に関連するイベントについては、共催・協賛箇所等として支援し、Webサイトやニュースレターに案内や報告を載せた(p.2・3参照)

② 他大学・機関との交流・協力については、2012年12月には、関西学院大学で開催された女性研究者支援フォーラムを後援した。

③ 委員会委員・部会委員・事務局スタッフは、学内外のワークショップ・シンポジウム・講演会等の講師を務めるほか、積極的に参加をし、情報収集・意見交換を行った。

○参加講演会・シンポジウム等

開催日	主催者	演題等	参加形態
2012/06/06	早稲田大学	オランダと日本における女性就労の潜在的	一般参加
2012/06/22	内閣府	内閣府「男女共同参画社会作りに向けての全国会議 ～男女共同参画による日本再生～」	一般参加
2012/07/02	上智大学	第1回男女共同参画セミナー「男女共同参画は日本の希望」	一般参加
2012/07/02	お茶の水女子大学	日米のワークライフバランス ―ジェンダー格差センシティブな視点から―	一般参加
2012/07/04	早稲田大学	発達障がいをもつ学生への理解と支援 1回目	一般参加
2012/07/18	日本女性学習財団	女性のキャリア形成 第一回女子学生のキャリア支援	一般参加
2012/09/12	日本女性学習財団	女性のキャリア形成 第二回女子学生のキャリア支援	一般参加
2012/10/17	早稲田大学	発達障がいをもつ学生への理解と支援 2回目	一般参加
2012/11/09	ウィメンズプラザ	ウィメンズプラザフォーラム	一般参加
2012/11/13	早稲田大学	ベンチャーやろうぜ	一般参加
2012/12/07	早稲田大学	ビジネスプランコンテスト最終発表会	一般参加
2012/12/08	関西学院大学	関西学院大学(私大連協力シンポジウム)「関西圏の私立大学における男女共同参画の推進を目指して」	一般参加
2013/03/15	早稲田大学	実践的博士人材養成プログラム成果報告会	一般参加

9) 長期的な展望にたつ男女共同参画の推進

① 2008年12月に発表した中長期計画「男女共同参画基本計画」の実現に向けて、2012年度事業計画を実施した。また、2011年度の事業報告を作成し、Webサイト上で広く学内外に公表するとともに、その報告内容・実績を踏まえ、2013年度事業計画を策定した。なお、

事業の実施と計画立案にあたり、次のとおり、委員会・部会等を開催した。

○会議等の開催状況

会議体名	開催数	開催日・回
委員会・幹事会	3回	6/21 第13回(第3期2回)、10/17 第14回(第3期3回)、 1/31 第15回(第3期4回) ※幹事会の開催なし
教育研修部会	4回	7/20 第22回(第3期3回)、10/5(打合せ会)、 1/11 第23回(第3期4回)、3/8 第24回(第3期5回)、
制度環境部会	4回	6/15 第25回(第3期3回)、8/9 第26回(第3期4回)、 11/14 第27回(第3期5回)、1/24(打合せ会)
広報調査部会	4回	4/11 第24回(第3期2回)、7/3 第25回(第3期3回)、 10/9 第26回(第3期4回)、12/8 第27回(第3期5回)
サポートセンター部会	4回	6/13 第15回(第3期3回)、8/2 第16回(第3期4回)、 12/26 第17回(第3期5回)、3/13 第18回(第3期6回)

③ 2012年度末の事務局体制は次のとおりであり、2011年度末と比べ増減はなかった。

スタッフ数：6名（内訳：管理職1、専任職員2、派遣1、相談員2）2013年3月現在

10) 男女共同参画に必要な各種調査の実施

- ① 2008年度に実施した教職員全数調査の今後の実施方法・間隔等について検討を行い、前回から5年経過後の2013年度の実施に向けて、具体的な事業ならびに予算計画を策定し、調査票の改訂作業を始めた。
- ② 男女共同参画事業の推進にあたって、必要な情報を収集するための調査活動として、2008年12月、2010年12月に引き続き、2012年4月に人事部との懇談を実施した。
また、2012年12月に研究推進部との懇談を、2013年1月に教務部との懇談を、同2月にキャンパス企画部との懇談を実施した。
- ③ 他大学・学外機関からの調査等について、以下のとおり協力した。

○学外からの調査依頼等

依頼月	依頼機関	調査内容
2012/07	科学技術振興機構	科学技術振興調整費のプログラム評価に係わる調査

11) 男女共同参画の進捗状況の周知

- ① 本学における男女共同参画推進の取り組み、現状や制度の概要等を紹介することを目的としたリーフレットについて、利用者の至便性を図り配付対象を専任教職員用と専任教職員も含めた教職員・学生共通用の2種類を2012年10月に発行した。
また、ポスターについては、日本語と英語併記版として、2010年度に作成したポスターのデザインは変更せず、2012年7月に発行、学内全ての箇所に掲出を依頼した。

○リーフレット

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
専任教職員用 早稲田でも進めています男女共同参画	2012/10	4,000部	専任教職員
ワークライフバランスサポート案内	2012/10	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生

○ポスター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
早稲田でも進めています男女共同参画 Gender Equality at Waseda University	2012/10	300部	学内全箇所

- ② 2009年3月に創刊したニュースレターについて、引き続き、2012年10月に第8号を発行、さらに2013年4月発行の第9号の校正編集作業を実施した。

○ニュースレター

タイトル	発行年月	発行部数	配布対象者
さんかくニュースNo.8	2012/10	25,000部	全ての教職員(非常勤・派遣も含む)・大学院学生、希望する学部学生
さんかくニュースNo.9	2013/04	25,000部	

- ③ Web サイトによる情報発信の充実を図るため、男女共同参画推進に関連する学内外の情報を、ニュース・イベントとして速やかに掲出した。

ニュース・イベント掲出数：2012年度59件 ※前年比13件減

アクセス件数：2012年度11,006件(月平均約917件) ※前年比362件増

- ④ 既存の学内広報物に、適宜、記事・話題を提供した。

○『早稲田ウィークリー』学生部発行

- ・1273号(2012年4月26日発行)

【杜の手帳】公開講座「科学史とジェンダー」開催告知

- ・1284号(2012年7月19日発行)

【こんな授業!どんなゼミ?】「ジェンダーを通じて現代へ」掲載

- ・1286号(2012年10月11日発行)

【杜の掲示板】イクメンによるワークライフバランス講座第2弾 これからの日本企業での働き方～ダイバーシティ・マネジメント実践術～開催告知

○『CAMPUS NOW』広報課発行

- ・201号(2012新緑号)

【My study, My career】法務研究科 教授 北川佳世子

- ・202号(2012盛夏号)

【My study, My career】人間科学学術院 教授 齋藤美穂

- ・ 203号(2012 錦秋号)
 - 【My study, My career】教育・総合科学学術院 教授 広中由美子
- ・ 204号(2012 新年号)
 - 【My study, My career】社会科学総合学術院 教授 畑恵子
- ・ 205号(2013 早春号)
 - 【My study, My career】文学学術院 准教授 渡辺愛子
 - 【第二世紀へのメッセージ】園田天光光（女子正規学生第二期生）
- 『CAMPUS HANDBOOK 2013-2016』学生部発行
 - ・ 「男女共同参画推進室」の紹介を掲載
 - ・ キャンパス案内図の中に、おむつ交換台・ベビーチェア設置箇所を掲載
- 『留学生ハンドブック』留学センター発行
 - ・ 「授乳室・搾乳室」掲載
 - ・ 「男女共同参画の推進について」掲載
- 『早稲田大学なんでも相談～教員お役立ち情報～2013』教務部FD推進センター発行
 - ・ 「仕事とライフイベントとの両立について相談したい」掲載
- 『みらい設計ハンドブック』キャリアセンター発行
 - ・ 「男女共同参画・ワークライフバランス支援（講座・交流会・相談窓口）」掲載
 - ・ 「サポート機関一覧」に掲載

以 上